



Ideas & Chemistry

2017.11.09

2017年度第2四半期決算 補足資料



東洋紡株式会社

決算のポイント

上期実績

- 営業利益は 105億円 (1.5%減)、当期純利益は60億円 (65.3%増)
- “コスモシャインSRF”は増産対応に注力。包装用フィルムは原料高先行で苦戦
- バグフィルター用PPS素材は回復基調も、医薬受託、衣料繊維が減益

通期予想

- “コスモシャインSRF”拡大や包装用フィルム回復を見込み、営業利益は250億円に据え置き
- 当期純利益は、固定資産売却を踏まえ、190億円に修正

	16年度			17年度			直近予想 (2017/8)
	上期	下期		上期	下期		
売上高	1,647	1,648	3,295	1,614	1,786	3,400	3,400
営業利益	107	127	233	105	145	250	250
経常利益	87	119	207	91	129	220	230
親会社株主に帰属 する当期純利益	37	58	94	60	130	190	135

(億円)

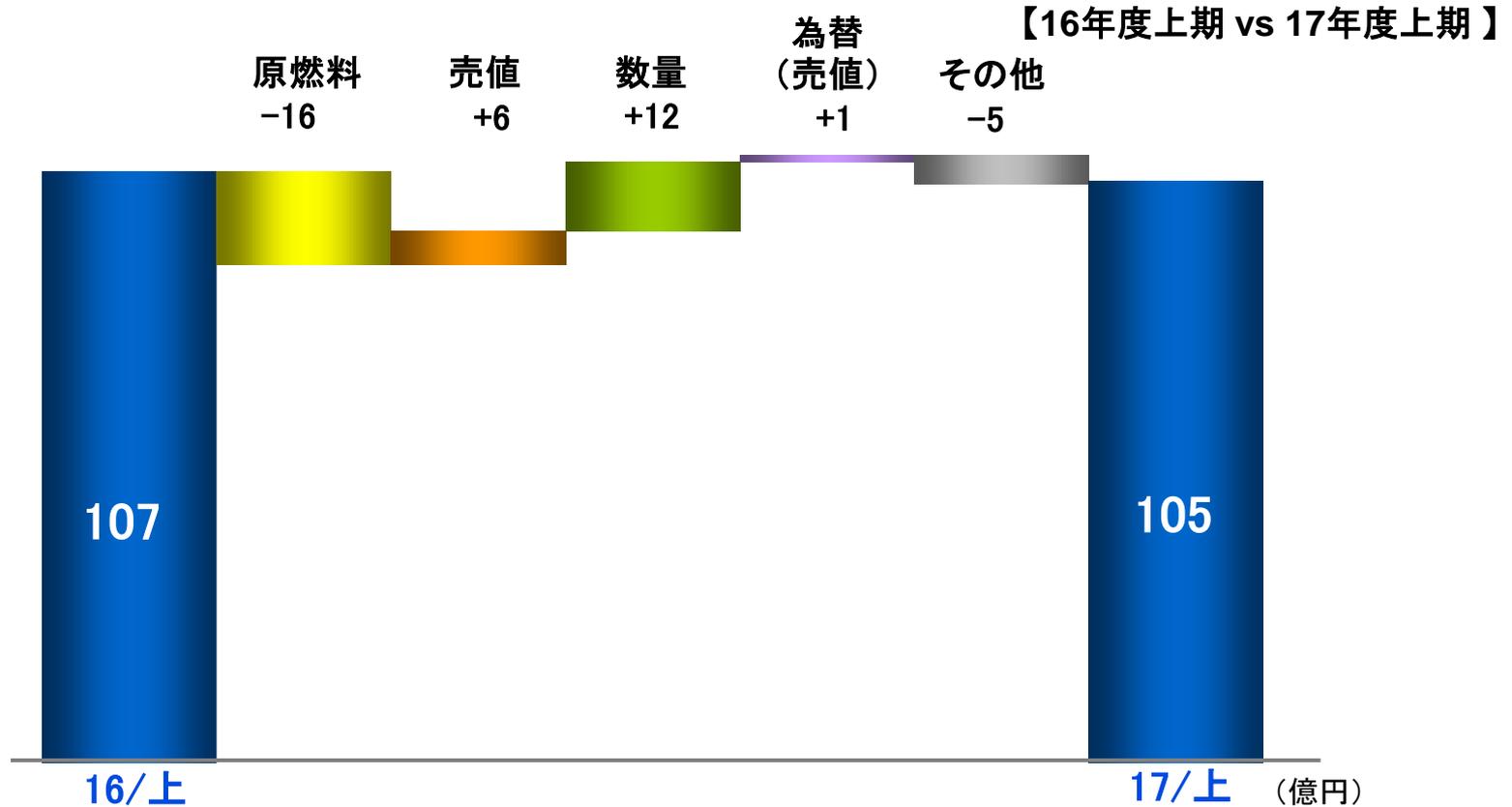
I . 2017年度第2四半期決算概況

(1) 決算概要 ①PL・CF

	(億円)					直近予想 (2017/8)
	16上	16下	17上	前年同期比		
				金額	率	
売上高	1,647	1,648	1,614	-33	-2.0%	1,650
営業利益	107	127	105	-2	-1.5%	110
(率)	6.5%	7.7%	6.5%	-	-	6.7%
経常利益	87	119	91	+3	+3.8%	100
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	58	60	+24	+65.3%	60
※ EPS(円)	41.2	65.2	68.1	-	-	
減価償却費	73	76	78	+5	+6.7%	
設備投資	78	105	98	+20	+25.5%	
営業CF	106	162	128	+22	+20.3%	
為替レート(円/US\$)	105	112	111			
国産ナフサ価格(千円/KL)	32	38	38			

※株式併合後の値

営業利益増減要因分析（前年同期比）



	16上	17上
円レート (¥/\$)	105	111
国産ナフサ (千円/kl)	32	38

②BS

	(A)			(B)	(億円)
	16/3末	17/3末	17/9末	増減 (A)→(B)	
総資産	4,446	4,508	4,474	-34	
現預金	203	323	256	-68	
棚卸資産	753	728	718	-10	
純資産	1,601	1,709	1,772	+63	
自己資本	1,569	1,678	1,736	+58	
(利益剰余金)	395	459	491	+32	
非支配株主持分	32	31	36	+5	
有利子負債	1,654	1,692	1,633	-59	
D/E レシオ	1.05	1.01	0.94		

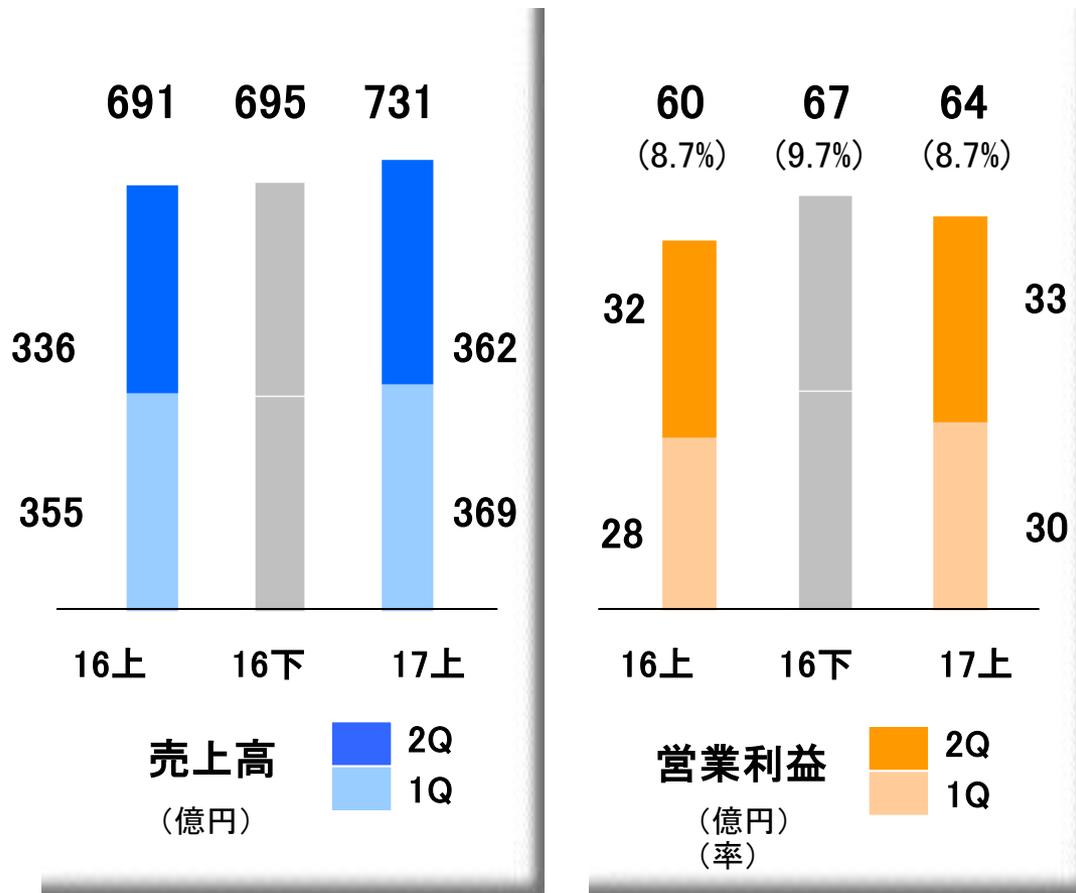
(2) セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			増減
	16上	16下	17上	16上	16下	17上	
フィルム・機能樹脂	691	695	731	60	67	64	+4
産業マテリアル	289	310	305	17	21	22	+5
ヘルスケア	180	185	163	22	30	17	-5
繊維・商事	398	377	338	4	6	-2	-6
不動産・その他	89	81	77	17	16	15	-2
消去・全社	-	-	-	-15	-15	-12	+3
合計	1,647	1,648	1,614	107	127	105	-2

① フィルム・機能樹脂

包装用フィルムは原料高先行で苦戦
 コスモシャインSRFは増産対応に注力。離型フィルムも販売拡大



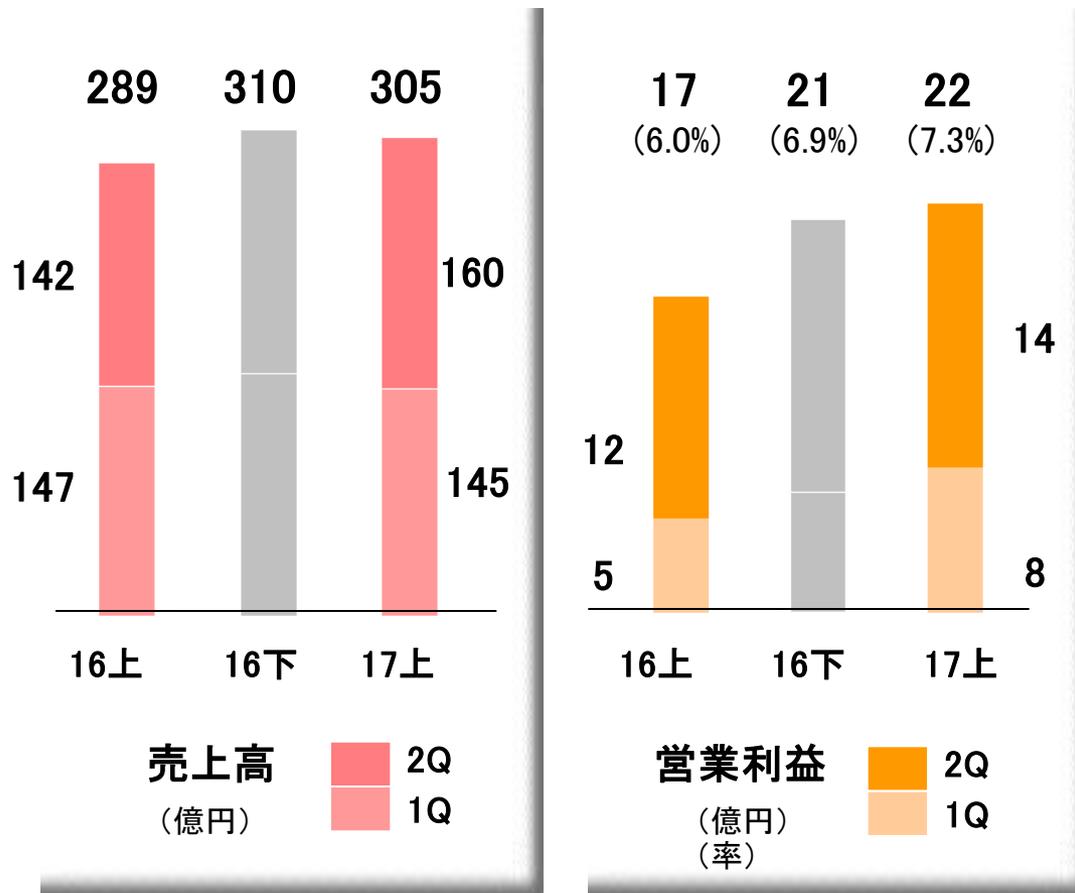
● 包装用フィルム
 ・原料高先行で苦戦

● 工業用フィルム
 ・コスモシャインSRFは増産対応に注力
 ・離型フィルムは販売拡大

● 機能樹脂
 ・インフラは国内自動車用途が好調
 ・バイロンは電子材料用途で販売拡大
 ・光機能材料は海外で好調

② 産業マテリアル

エアバッグ用基布は下期からの拡販準備進む
 バグフィルター用PPS素材は回復基調



● エアバッグ用基布

- ・下期からの拡販準備進む

● 生活・産業資材

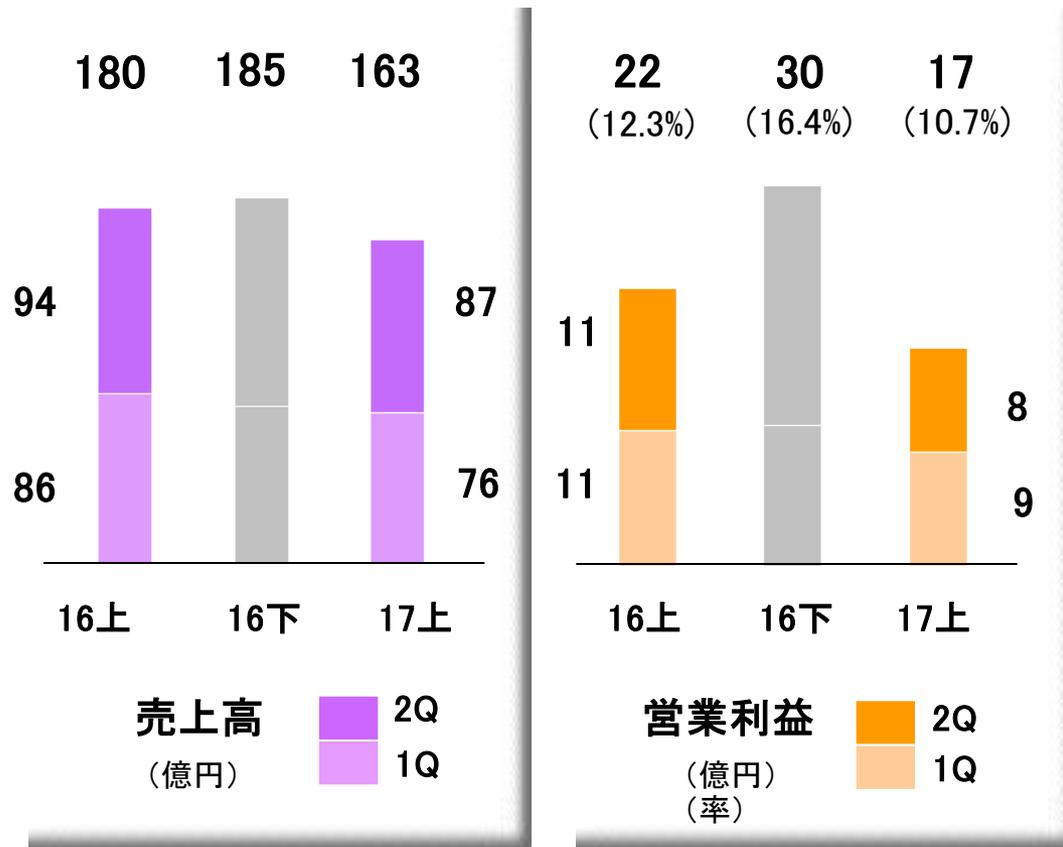
- ・PPS素材が回復基調

● スーパー繊維

- ・イザナスは新タイプの販売開始
- ・ツヌーガは手袋用途がアジアで堅調

③ ヘルスケア

バイオ・メディカル事業は医薬品製造受託が減益
機能膜・環境事業はVOC処理装置が拡大へ



● バイオ

- ・診断薬用酵素、ライフサイエンス試薬が好調

● 医薬品製造受託

- ・GMP対応費用を一括計上

● 機能膜

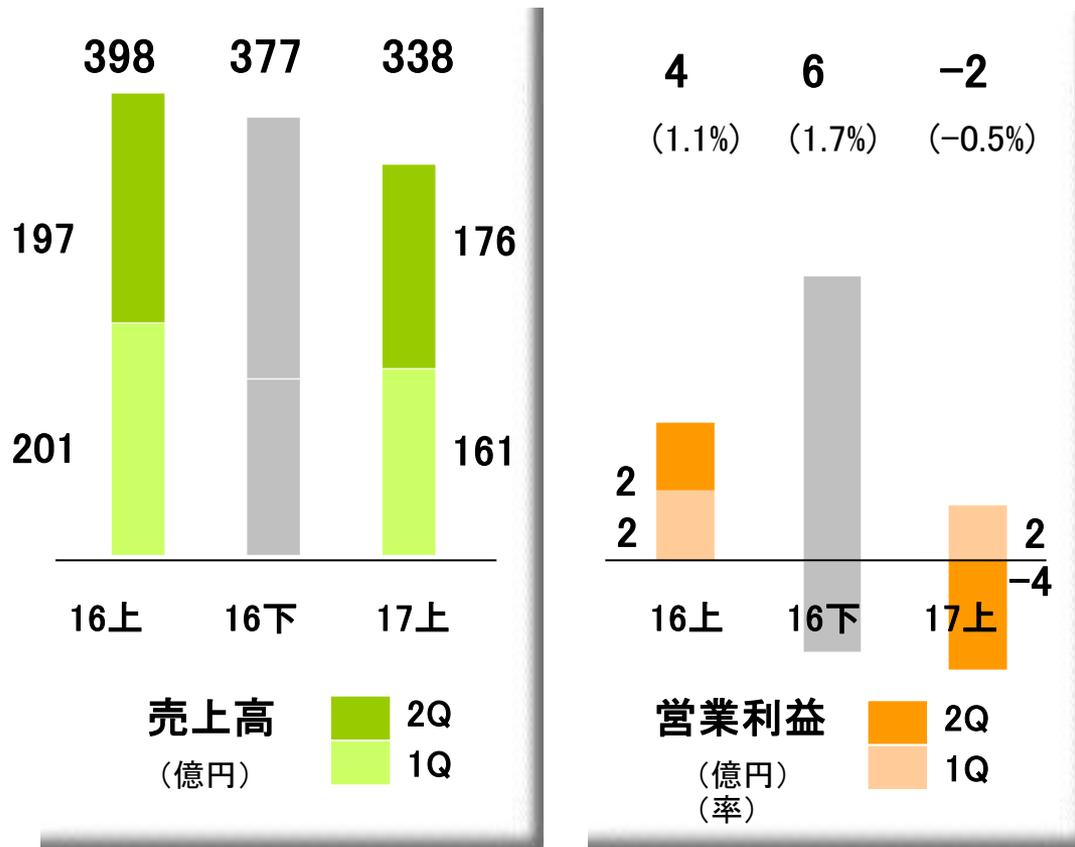
- ・医用膜は販売低調

● 機能フィルター

- ・VOC処理装置はアジア向け拡大へ

④ 繊維・商事

中東トープは中東情勢等により低調
スポーツ衣料製品の一部で苦戦



● 東洋紡STC(繊維)

- ・ユニフォーム用途は堅調
- ・中東トープは中東情勢等により低調
- ・スポーツ衣料製品の一部で苦戦

● アクリル繊維

- ・改革により回復傾向

Ⅱ. 2017年度業績予想

(1) 業績予想

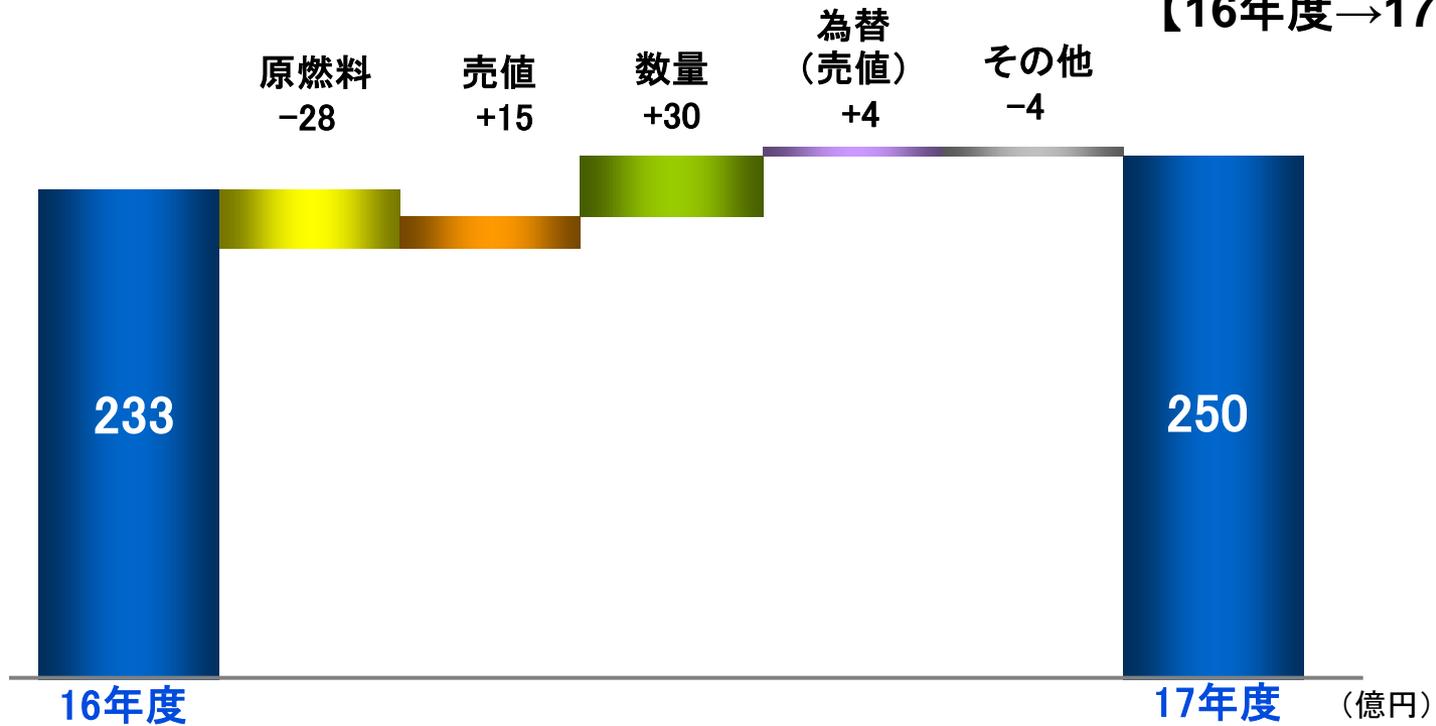
(億円)

	16年度実績	17年度予想		3,400	増減		直近予想 (2017/8)
		上	下		金額	率	
売上高	3,295	1,614	1,786	3,400	+105	+3.2%	3,400
営業利益	233	105	145	250	+17	+7.1%	250
(率)	7.1%	6.5%	8.1%	7.4%	-	-	7.4%
経常利益	207	91	129	220	+13	+6.5%	230
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	60	130	190	+96	+101.2%	135
※ EPS(円)	106.4	68.1	145.9	214.0	-	-	15.2
減価償却費	149	78	80	158	+9	+5.8%	155
設備投資	184	98	92	190	+6	+3.5%	190
為替レート(円/US\$)	109	111	112	112			110
国産ナフサ価格(千円/KL)	35	38	43	40			42

※株式併合後の値

営業利益増減要因予想

【16年度→17年度】



	16	17
円レート (¥/\$)	109	112
国産ナフサ (千円/kl)	35	40

(2) セグメント別予想

(億円)

	売上高				営業利益				直近予想 (2017/08)
	16年度	17年度予想			16年度	17年度予想			
		上期	下期			上期	下期		
フィルム・機能樹脂	1,386	731	749	1,480	127	64	83	147	137
産業マテリアル	599	305	314	619	39	22	21	43	39
ヘルスケア	364	163	246	409	52	17	35	52	59
繊維・商事	776	338	405	743	11	-2	9	7	11
不動産・その他	170	77	72	149	33	15	12	27	33
消去・全社	-	-	-	-	-29	-12	-14	-26	-29
合計	3,295	1,614	1,786	3,400	233	105	145	250	250

利益配分に関する基本方針

■ 株主さまへの利益還元は、企業にとって最重要事項の一つ

■ 剰余金配当決定の基本方針：

安定的な配当の継続を基本としつつ、
利益水準、将来投資のための内部留保、財務体質の改善
などを総合的に勘案し、総還元性向^(※)30%を目安として、
自己株式の取得を含めた株主還元を行う

(※) 総還元性向 = (配当総額 + 自社株買い総額) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 2017年10月1日

● 株式併合：10株←1株

● 単元株式数変更：100株←1,000株

1株当たり期末配当金は35円(←3.5円)に

■ 2017年度上期は、概ね計画通りに推移

1株当たり期末配当金：40円(←35円)に増配予定

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社